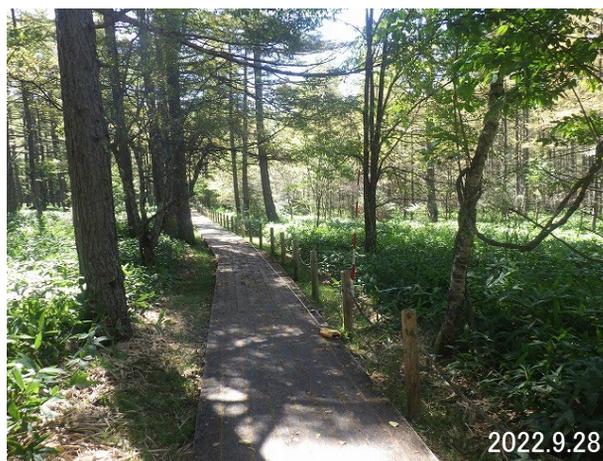


管轄森林管理局・署	関東森林管理局 日光森林管理署
所在地	栃木県 日光市
面積	69.28ha
設定年	1962(S37)年
保護林の概要 (設定目的)	湿原から草原に移行する段階の比較的乾燥した湿原で、イブキトラノオ、タテヤマスゲ、ニッコウザサなどが優占し、全国的に局地分布を示すホザキシモツケが湿原外縁部で大群落を形成している。このため希少種の多い湿原に成立している群落の希少な個体群を保護するため設定する。



2022.9.28



2022.9.28

モニタリング調査概要

実施年度	2007年、2012年、2017年、2022年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、湿原内を通る木道沿いに3つの調査ラインが設定されており、木道上から目視による植生調査(ベルトランセクト)を実施した。
結果概要	森林調査について、湿原構成種の出現数や被度群度が前回調査よりも減少し、また、低木が成長しており、乾燥化の傾向がみられた(調査範囲が木道沿いのためと考えられる)。 林内部の調査プロットについては、過年度の調査写真と比較して、ササ丈が高くなっており、分布範囲も増加している。保護林範囲がシカ防護柵に覆われているため、柵の効果によりニホンジカによる被害を防止できている影響と考える。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。